京都新聞
KYOTO SHIMBUN
（京都）
'09.10.-5

クリーンエネルギーで大国に

国際フォーラム 左京で開幕

バイオマス、太陽光技術を活用

菅副総理が表明

環境やエネルギーをテーマに科学技術の在り方を討議する第6回「科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム」（STSフォーラム）が4日、京都市左京区の国立京都国際会館で開幕した。開会式でスピーチした科学技術政策担当の菅直人副総理兼国家戦略担当相は「クリーンエネルギー分野で技術大国を目指す」と述べ、地球温暖化対策で日本が主導的役割を果たす姿勢を示した。

菅副総理は、国連の気候変動サミットで鳩山首相が主要排出国の合意などを前提に「2020年までに温室効果ガスを1990年比で25%削減する」と表明したことを英語で報告した。持続可能な社会の実現に向け、バイオマスや太陽光発電などクリーンエネルギー分野の革新的技術を生かした「グリーンイノベーション」を提唱する考えを示した。

フォーラムは84の国・地域・国際機関から、科学技術担当大臣や政策担当者、企業関係者、科学者ら計約700人が参加した。初日はポスト京都議定書の枠組構築や感染症対策などをテーマに意見を交わした。6日まで環境やエネルギーをテーマに全体会議や分科会がある。（甲賀史郎）

温室効果ガス削減目標の実現に向け、革新的な技術開発の必要性を訴える菅副総理（京都市左京区・国立京都国際会館）